

2つの「成蹊通り」を探る

武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館 学芸員(民俗) 波田 尚大



大正13年(1924)、東京府北多摩郡武蔵野村に成蹊学園が移転しました。武蔵野市域には成蹊学園にちなんだ地名が幾つか存在していますが、様々な文献や地図を確認すると、どうやら現在の「成蹊通り」とは異なるもう一つの「成蹊通り」が存在していたことがわかります。



図1 現在の「成蹊通り」

図1は現在の「成蹊通り」を筆者が撮影したものです。図2は昭和18年(1943)作成の地図に掲載されている「成蹊南通り」です。この「成蹊南通り」は現在、「成蹊学園前」にある「成蹊前歩道橋」から南西につづく道路が該当します。「成蹊南通り」は昭和34年(1959)の武蔵野市歴史公文書「市内の通り名」(註1)において、「通り名：成蹊通、方向：南北、起点：八丁踏切、経過地点：八丁小学校(現 井之頭小学校)、終点：成蹊前」と、また、昭和14年(1939)発行の地図(註2)には、「成蹊通」と記されています。つまり、少なくとも昭和34年(1959)以前は、「成蹊学園前」の「成蹊前歩道橋」から南西につづく道路のことを「成蹊(南)通り」と呼んでいたようです。



図2 昭和18年(1943)の地図に掲載されている「成蹊南通り」

『武蔵野市百年史 続編』資料編の「道路通称名一覧表」に、現在の「成蹊通り」の「根拠・由来など」が記載されています。それによると「昔は、五日市街道角に秩父三峰神社に端を発する三峰社があり「秩父通り」と呼ばれていた」とあります。図2の地図の北西部に神社の地図記号を確認することができますが、それが三峰社です。三峰社の東側の道路が「秩父通り」で、現在の「成蹊通り」の前身です。

『武蔵野市百年史 続編』資料編の「道路通称名一覧表」に、現在の「成蹊通り」の「根拠・由来など」が記載されています。それによると「昔は、五日市街道角に秩父三峰神社に端を発する三峰社があり「秩父通り」と呼ばれていた」とあります。図2の地図の北西部に神社の地図記号を確認することができますが、それが三峰社です。三峰社の東側の道路が「秩父通り」で、現在の「成蹊通り」の前身です。



図3 「武蔵野都市計画街路及広場計画図」(註3) 矢印が「街路番号2等大路第1類第2号線」

現在の「成蹊通り」は、昭和16年(1941)に計画されました(図3参照)。計画上の名称は「街路番号2等大路第1類第2号線」で、起点は三鷹町大字下連雀、終点は武蔵野町大字吉祥寺となっています。『武蔵野都市計画の概要』によると、昭和37年(1962)には「街路名称」として「下連雀秩父通線」という名称が使用されていたようです(表1参照)。

計画の詳細については紙幅の都合上割愛させていただきますが、『武蔵野市百年史』資料編Ⅱ上に、当時の新聞記事などが掲載されていますので、興味のある方は是非ご確認ください。

以上、2つの「成蹊通り」について紹介しましたが、まだわかっていないことがあります。ひと昔前の「成蹊通り」はいつから「成蹊通り」と呼ばれなくなってしまったのか、現在の「成蹊通り」はいつから「成蹊通り」と呼ばれるようになったのかということです。早く報告ができるように、今後も調査・研究を続けていきます。

表1 現在の「成蹊通り」の計画の変遷(註4)

番号	年	計画の変遷
1	昭和16年(1941)	「2等大路第1類第2号線」へ
2	昭和29年(1954)	「2等大路第3類第17号」へ
3	昭和32年(1957)	三鷹市新川が起点、幅員が12m、延長が4,037mへ
4	昭和37年(1962)	「2等大路第3類第5番線」へ 武蔵野市御殿山2丁目が起点、武蔵野市吉祥寺北町3丁目が終点、主な経過地が武蔵野市吉祥寺本町4丁目、延長が2,160mへ 街路名称「下連雀秩父通線」
5	昭和42年(1967)	武蔵野市御殿山2丁目が起点、武蔵野市吉祥寺本町3丁目が終点の区間は幅員12~18m、延長194m
6	昭和48年(1973)	武蔵野市御殿山2丁目が起点、武蔵野市吉祥寺本町3丁目が終点の区間には中央線立体交差区間有り
7	昭和57年(1982)	面積26,502 m ²

註1 武蔵野市歴史公文書 昭和34年『町名整理 調査関係綴他2件(昭和29~34年)』より。

註2 たましん地域文化財団/デジタルアーカイブより「武蔵野町三鷹村番地入明細図」

<https://trc-adeac.trc.co.jp/html/ImageView/1392015100/1392015100200010/MB000-025/>

註3 「都市計画東京地方委員会資料」昭和15年(1940)12月9日 東京都公文書館蔵(U519.8-とち-658)

註4 『武蔵野都市計画の概要』より作成。同書記載の「旧都市計画基準」(昭和8年(1933)7月20日発都第15号 内務次官通達)によると、「2等大路第1類」は幅員18m以上、「1等大路第3類」=幅員22m以上。

参考文献 武蔵野市都市開発部『武蔵野都市計画の概要』昭和57年(1982)2月/武蔵野市『武蔵野市百年史』資料編Ⅰ上 平成6年(1994)年3月207-211頁/武蔵野市『武蔵野市百年史』資料編Ⅱ上 平成7年(1995)年3月632-639頁/武蔵野市『武蔵野市百年史 続編』資料編 平成23(2011)年9月947-950頁/武蔵野ふるさと歴史館『企画展「幻となった武蔵野の未来図」図録』平成29年(2017)7月/武蔵野ふるさと歴史館『企画展「武蔵野の地名」図録』令和2年(2020)7月

筆者のプロフィール 波田 尚大(はだ なおひろ)

平成3年(1991)生。北海道札幌市手稲区富丘出身。平成28年(2016)、國學院大學大学院文学研究科文学専攻伝承文学コース 博士課程前期修了。平成22年(2010)から武蔵野市の民俗資料整理に従事し、平成28年(2016)より武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館の学芸員(民俗)として勤務。